

物価高騰に関する医療機関の緊急影響調査（最終集計）

全国保険医団体連合会

調査概要

医療機関は、終わりの見えない物価高騰、診療報酬改定の影響などで経営は非常に厳しい状況です。

当会では、医療機関の経営状況について緊急調査を行いました。調査では、物価高騰による影響、診療報酬改定後の状況、持ち出ししてでも賃上げせざるを得ない医療機関の逼迫した経営現状が明らかになりました。

調査は緊急で2月に実施し、37都府県（39保険医協会・医会）から4,658件にご回答いただきました。

02 診療報酬改定後の医療機関収入（昨年1月と比較して） 「下がった」65.5%

回答医療機関の65.5%・3,051件が昨年1月と比較して診療報酬改定後の収入は「下がった」と回答しました。「下がった」と回答した医療機関の収入減少の幅は、10%以上が41.3%・1260件となり、経営の厳しい現状が見えます。

03 光熱費・材料費など診療報酬改定で「補填できていない」91.8%

光熱費・材料費等の経費は、診療報酬改定で物価高騰分が「補填できていない」と91.8%・4275件が回答しました。物価高騰により、光熱費や必要な医療材料など、あらゆる物が大幅に値上がりしています。今次の診療報酬改定は、医療者の望みからかけ離れたものだったと言わざるを得ません。医療機関経営の改善のためには、初・再診料をはじめとする基本診療料の大幅な引き上げが不可欠です。

04 人件費が診療報酬改定で「補填できていない」90.3%

人件費が診療報酬改定で「補填できていない」と90.3%・4,206件が回答しました。

4月の診療報酬改定では、「ベースアップ評価料」が導入されましたが、患者減や物価高騰などの影響で医療機関の収支は最終的に赤字です。

05 光熱費・材料費等、人件費の補填が診療報酬で出来ていない理由

03・04の間について、「診療報酬で補填が出来ていない理由」を自由記述で尋ねました。多数の医療機関で「物価高で材料費や光熱費が上がっているから」と物価高騰の影響が色濃く出ています。一方で、他業種との関係やスタッフ確保のために「人件費は上げなければならない」との声が寄せられています。また、コロナ後未だに患者が戻って来ていないなどの理由で大幅な減収になっている現状も明らかになりました。

また、電子カルテやレセコン、オンライン資格確認導入による費用増加など「医療DX」に関連する費用増も重なり、医療機関の経営を圧迫しています。

医科では、特定疾患指導料、生活習慣病管理料に係る点数の再編が大幅な減収になっているとの声も寄せられています。

人件費に関しては、そもそも医療機関は、「募集してもスタッフ確保が難しく常に人手不足の状態」で、そのため給与を引き上げざるを得ない」という悲痛な訴えがあります。「ベースアップ評価料」については、職種が限定されている点について「課題だ」という意見が多数寄せられました。合わせて、「ベースアップ評価料」を算定しても最終的には、物価高騰や患者減で医療機関収入が赤字になり、経営が厳しいと困り果てている現状です。

06 2024年分の賃上げを「実施している」79.4%

2024年分の賃上げは79.4%・3,698件が「実施している」と回答しました。医療機関経営が非常に厳しい中でも、医療機関は持ち出しなどの無理を押して、賃上げをしている状況が明らかになりました。

07 賃上げを「実施していない」理由

医療機関で賃上げを「実施していない」理由を自由記述で尋ねています。「収入が下がっている」「診療報酬が減っている」など多数の声が寄せられ、賃上げをしたくても出来ない苦しい状況が伺えます。自身の「収入を減らす」、「貯金を切り崩す」など医療機関の持ち出しで賃上げを行っている医療機関も多数見られます。

歯科医療機関では、「スタッフが居ない」から賃上げしていないという記述も多数見られました。「ベースアップ評価料」については、患者負担になるため、算定していないという医療機関も複数見られました。

08 医療機関経営の現状や困りごと

医療機関経営の現状や困りごとについて自由記述で尋ねています。

<スタッフ不足>

医療機関のスタッフ不足が深刻です。医科・歯科ともに「募集しても応募がない」、「給与を上げても応募がない」など、他業種の賃上げ水準に届いていない医療機関の給与では、スタッフを確保することも困難です。スタッフが確保できなければ、診療の縮小、閉院も考えなければならない状況に医療機関は追い込まれて行きます。

<減収>

物価高騰にもかかわらず、診療報酬の削減、患者減など、いくら頑張っても経営が成り立たないという悲痛な声が寄せられています。中には、頑張ってきたが、「もうあきらめたい気持ちだ」という医師・歯科医師の嘆き、「閉院を考えている」などの声も寄せられています。

<オン資など医療DX>

オンライン資格確認の導入で経費の増加、スタッフの手がカードリーダーなどのトラブルで取られるなど、本来の診療とはかかわりない業務が医療機関に課されていることについて不満の声が多数寄せられています。また、「医療DX」にかかわる機材の購入・維持費などが物価高騰で苦しんでいる医療機関経営に拍車をかけています。

09 行政等（国、県、市町村）への要望など

行政等への要望を自由記述で尋ねています。

<診療報酬の引き上げ>

「とにかく診療報酬を上げて欲しい」という声が多く、診療報酬の引き上げがなければ、物価高騰、医療機関の経営、賃上げも現実味がないとの意見が多数です。

地域医療を守り、地域住民が安心して医療を受けることは、医療機関の安定的な経営なしには実現出来ません。「分娩を保険で行うことが厳しい、無床化を予定している」「感染症のパンデミックに協力できる体力はない」などの記述もありました。医療機関は、想像以上に厳しい状況です。地域から医療機関が無くなれば、受診抑制を生み、疾病の重症化にも繋がります。医療機関の経営を安定させ、地域医療を守るために、当アンケート結果も鑑み、診療報酬の期中改定を強く求めます。